

# しちがはま 議会だより

No. 119

平成26年4月15日  
宮城県七ヶ浜町議会

希望に向かって！

(亦楽小学校)

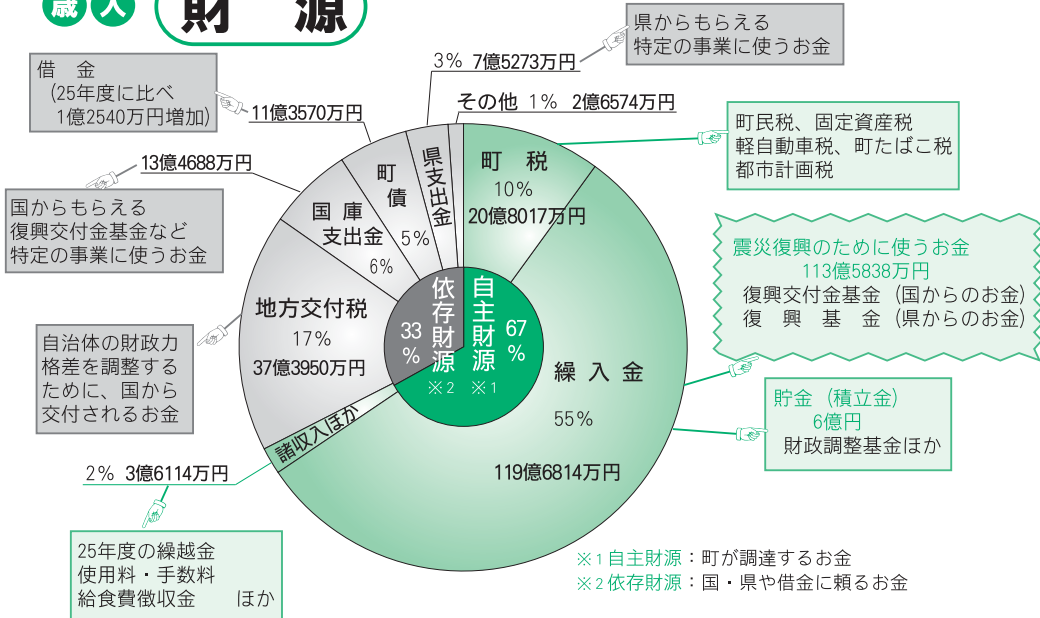
特集	26年度 予算	復旧期から再生期へ	2
		学校給食センターが開所しました	8
		再生期に取り組む決意など	9人が質問 14
		おらほのサークル紹介シリーズ	—第1回—24

平成26年度一般会計は216億5000万円でスタート

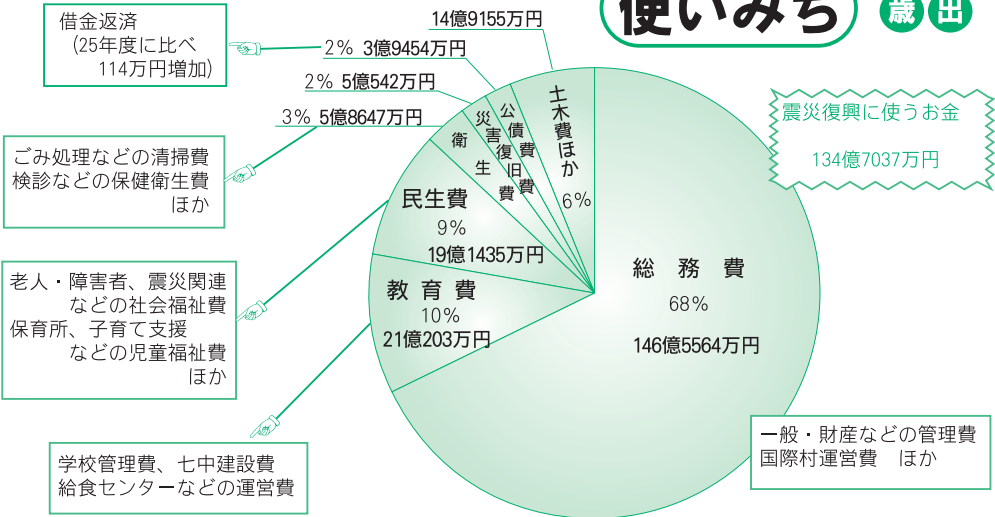
# まちの再生へ向けて 復興に約7割

3月  
定例会

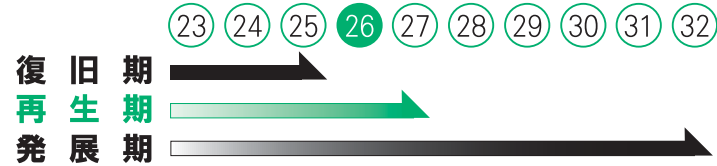
## 歳入 財源



## 使いみち 歳出



## 七ヶ浜町震災復興計画(平成23年度～32年度)



4年目に入りました(汐見小の4年生)

3月定例会を3月5日から17日までの会期で開催しました。平成26年度は、町の復興計画が復旧期から再生期へ移行します。史上最大規模となる当初予算を中心に、給食センター設置条例の改正や変更契約、25年度の補正予算など41件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問は9人が活発な議論を展開しました。

## 主な取り組み

- 子ども・子育て支援事業計画をつくります。
- クリーンエネルギー推進として3小学校に太陽光発電装置を設置します。
- 6次産業化に向けて水産加工施設を整備します。
- 七ヶ浜中学校の改築や給食の供用を開始します。

平成26年度は、東日本大震災から4年目となり本格的な復興の正念場を迎えます。本町は住宅の再建を最優先に進めており、高台住宅団地整備が今年度で完了する予定です。さらに災害公営住宅や地区避難所の迅速な建設、被災地の土地区画整理事業の着手など復興のまちの姿を実感できるものにしていきます。一般会計の予算規模は町制施行以来最大となりましたが、震災関連事業費を差し引くと震災以前の規模となります。厳しい財政状況をしっかりと見据え、着実に歩みを進めていきます。



施政方針 (概要)  
町長 渡邊善夫

# 予算はこうして決まります

町長は26年度の政策を実行するための財源と事業などの見積り額（当初予算）を提案します。

## 提案権

議会は詳しくチェックするために、予算審査特別委員会（議長を除く全議員で構成）を設置し付託します。



3月6日から12日まで

## 予算審査特別委員会



遠藤久和委員長

委員会が閉会します

認定

## 採決

起立（賛成）で各種会計ごとに賛否をきめます。

**説明**  
担当する課ごとに内容の説明があります。

**Q & A**  
委員から理由などを質疑します。（主な内容は5・6ページに掲載）

## 討論

…なので反対します。…だから賛成します。理由は本会議で述べます。

**委員会報告**  
委員長が審査結果を報告します。

## 本会議で

付託された各種会計予算は、慎重に審議した結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

## 議案

**討論**  
各種会計の反対・賛成の意見を述べます。（7ページに掲載）

## そして

**採決**  
起立で決めます。（7ページに掲載）

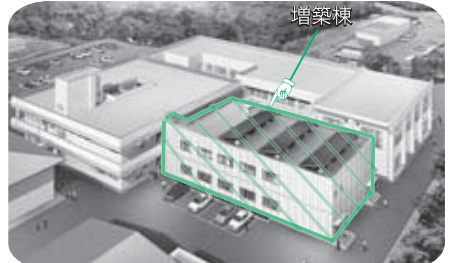
議決しました

**執行権**  
町が政策を実行します。

# Q&A ここはどんなのか

## 防災拠点施設整備 2億2600万円

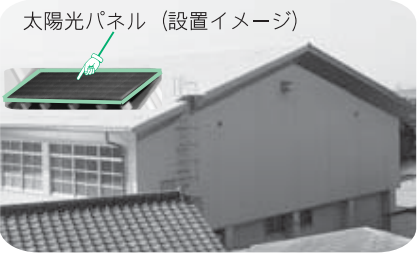
**問** 生涯学習センターを改築して防災拠点施設とする内容は、  
**答** 生涯学習課長 現在の敷地内に、鉄骨造り2階建ての増築棟を新築（7月着工27年7月完成予定）。中央公民館と機械室を改修（10月着工、27年12月完成予定）、施設として整備する。総事業費は7億3700万円、復興交付金を財源として実施する。



生涯学習センターが変わります（完成予想図）

## 再生可能エネルギー事業 1億5060万円

**問** 町内の小学校に太陽光発電設備を設置するが発電量は、  
**答** 環境生活課長 各小学校の発電量は1日約57kWhである。



太陽光パネル（設置イメージ）  
環境にやさしい教育施設に

**問** 環境教育として太陽光発電モニターを設置（180万円）するが場所は、  
**答** 教育総務課長 子どもたちの出入りが多い場所に設置したい。

## みやぎ環境交付金事業 405万円

**問** LED街路灯を設置する場所はどこか。また、町内の設置は今回で完了なのか。  
**答** 環境生活課長 26年度は汐見台地区に10基を設置するが、まだ完了せず来年度以降も継続する。



LED街路灯（アクアリーナ付近）

**問** 交付金メニューとして環境対応公用車（ハイブリットカー）を選んだが、今後の増車は、  
**答** 副町長 各課から公用車の購入希望があり環境交付金の対象になるため決定したが、増車は財政課と協議して対応していきたい。

## 七ヶ浜中プール改修事業 1392万円

**問** 26年度は実施設計の業務委託だが概要は、  
**答** 教育総務課長 25mプールを現在の第2仮設校舎付近に設置する計画。向洋中のプール建設費を目安に、国から3分の1補助で27年度に着工する予定。



平成2年に完成した向洋中プール

## 君ヶ岡公園樹木植栽 100万円

**問** どこに何を植えるのか。次世代へ向けた桜の植栽の考えは、  
**答** 建設課長 秋シーズンに向けモミジやナカマド、カエデの苗木をバス発着場付近に植える予定。  
**副町長** 桜はテングス病などで弱っているが、ポランディアが苗木を毎年植えて対応している。

# 討論

**水道事業会計**  
**反対** 歌川 渡  
 受水量および原価の引き下げと預金の取り崩しで料金の引き下げが可能である。負担軽減を求める。

**賛成** 渡邊 淳  
 適切な事業計画と経営の合理化や効率的な運営で、水の安定供給と事故対応に努めている。

**一般会計**  
**反対** 歌川 渡  
 震災復興事業で被災者への財政支援が十分ではない。また、町民バスぐるりんこの台数増や被災者の住宅再建補助の上乗せ、環境対応車を購入しないでLED街路灯を設置、慰霊碑の設置費用と場所の再考はかの改善を求め反対する。

**賛成** 我妻周悦  
 26年度の予算は、町制施行以来最大規模となった。震災から3年が経過し、復興事業への取り組みや産業の振興、経済 福祉の充実など住民全体に公平かつ七ヶ浜町の再生のための発展的予算であると判断できるので賛成する。

いずれも賛成13 反対1で

**特別会計**  
**下水道**  
**反対** 歌川 渡  
 住民の負担軽減は一般会計からの繰り入れで料金引き下げが可能

**賛成** 鈴木初雄  
 施設の計画的な維持管理で住民の快適な住環境整備に努めている。

**国保**  
**反対** 歌川 渡  
 町民が安心して医療を受けられるため医療費負担の助成を求める。

**賛成** 遠藤喜二  
 保険料の収納率向上に努め被災者の健康保持等を計画している。

**介護保健**  
**賛成** 千葉志美枝  
 財源を有効に活用し生きがいのある暮らしの実現に向けている。

**後期高齢**  
**反対** 歌川 渡  
 保険料の負担増など高齢者が安心して生活できる制度ではない。

**賛成** 岡崎正憲  
 7年目になる制度だが、広域連合で確実な運営に努めている。

※公園墓地は、反対なく全会一致で可決

## 可決した各種会計予算額

会計名	平成26年度	平成25年度	前年度比			
			差引額	伸率(%)		
一般会計	216億5000万円	201億3000万円	15億2000万円	7.6		
特別会計	下水道事業	10億2300万円	6億9600万円	3億2700万円	47.0	
	国民健康保険	21億5400万円	21億5300万円	100万円	0.1	
	介護保険	13億6711万円	13億2909万円	3802万円	2.8	
	後期高齢者医療	1億7303万円	1億5343万円	1960万円	12.8	
	公園墓地事業	8509万円	1662万円	6847万円	412.0	
水道事業会計	収益的*1	収入	5億7311万円	5億3643万円	3668万円	6.8
		支出	5億3542万円	5億3274万円	268万円	0.5
	資本的*2	収入	2億152万円	1503万円	1億8649万円	1240.8
		支出	3億1260万円	1億428万円	2億832万円	199.8

\*1 収益的・・・経営に伴い、発生が予想される収入と費用  
 \*2 資本的・・・将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入

**インターナショナルデイス**  
**問** 5月に開催するが企画の内容は何か。  
**答** 国際村局長 タイをテーマ国に癒しを中心としたものにした。

**問** 昨年開催した シンガポール展



**友好の町交流事業**  
**問** 山形県朝日町との交流企画は、また、町民間に利用引きなどのサービスを検討する考えは。  
**答** 政策課長 今年は朝日町の町制施行60周年、芸術文化協会50周年に当たり、国際村パフォーミングスカンパニーが公演する予定。サービスは調査してみたい。

**子育て世帯に**  
**問** 臨時特別給付金が支給されるが内容は。  
**答** 地域福祉課長 消費税増税に伴い、児童手当受給者対象になる世帯に1人1万円が支給される。詳しい内容は広報しちがは5月号でお知らせする。

**ほのほの農園**  
**問** 被災した農園の再開はいつになるのか。  
**答** 産業課長 現在はボランティアが土づくりをしている段階であり、状況を見て早い時期に開園し利用者の募集を呼び掛けたい。

**再開が待ち遠しい**



**消防関連事業**  
**問** 消防団の活動服を一新すると国は公表したが、実施するのか。  
**答** 防災対策室係長 長靴や手袋などは分団の要望を聞いて対応しているが、活動服は支援の内容を見て判断したい。

**消防団 活動服を一新**  
 モデルチェンジはいつ (河北新報記事)



**被災者支援業務委託**  
**問** 災害公営住宅に入居する被災者を支援する事業の委託先と内容は何か。  
**答** 震災復興推進課長 東北大学に委託し、入居前の自治会づくりなどコミュニケーションに関する指導を受ける。回数は予算や大学側と打ち合わせて実施する。

**アンケート調査**  
**問** 中学校OU(学級診断尺度)調査の内容は。  
**答** 教育総務課長 いじめ問題対策として25年度から実施しているもので、生徒が友人関係や学習到達度等を記入する。

**町民夏まつい**  
**問** 会場での公演は町外からの出演者が目立つ。町内のサークルが参加し、皆で楽しむことに意義があるのではないかと。  
**答** 生涯学習課長 要望があれば取り入れ、内容を充実させたい。

**声の広報**  
**問** カセットテープは生産中止で確保が難しい。機器の貸出しを含め、CDへ切り替える考えは。  
**答** 政策課長 現在、声の広報は11人が利用しているが利用者の意見を聞き対応を考えたい。

**時代の流れで**



# ～被災から3年～

# 待望の学校給食センターが開所しました！

**議案審議**



**条例改正**

**七ヶ浜町学校給食センターの設置**

**内容**  
七ヶ浜町学校給食センターの移設に伴い、規定を改正するものです。  
★設置の位置  
遠山五丁目5番50号

調理や配送等は民間業者に委託します。学校給食に豊富な経験を持つ民間の活力を導入し、効率的で衛生面に配慮した運営を行います。揚げ物・焼き物・蒸し物の調理室やアレルギー調理室も備えています。

**質疑**

**問** 隣に特別養護老人ホームがあるが安全面への配慮は。  
**答** 教育総務課長 配送するトラックや、食材を納入する業者の車が多くなるので、徐行など十分な注意を払っていく。

**問** 管理業務を委託しているが地元雇用の人数は。  
**答** 給食センター所長 全体で22人中11人を町内から雇用する。

テープカット（2月28日開所式）

**人権擁護委員**  
(再任)  
高原重輝さん（70歳）  
（沙見台）  
任期は平成26年7月1日から3年間

**諮問**

**答** 工事を継続し、次年度への工期変更で対応する。

**問** 松ヶ浜漁港復旧工事は、工期が今年の3月29日になっているが変更は。  
**答** 工事を継続し、次年度への工期変更で対応する。

**問** 災害公営住宅の全体に関連するが、増額になった分の財源確保は。  
**答** 農災復興推進課長 本事業は国の復興交付金で行っているため、さらに要求していく。

**質疑**

**工事変更契約**



改修した旧スパーク七ヶ浜

**討論**

**●七ヶ浜町スポーツ施設**  
**内容**  
多目的利用を目的とした施設の改修に伴い、使用料を改めるものです。旧スパーク七ヶ浜を砂入り人工芝に改修し、フットサルコートと同じ使用料にします。  
1時間 半面470円  
全面940円

**賛成** 岡崎正憲  
改修される旧スパーク七ヶ浜は室内なので条件が良い。いろいろな立場の人たちが利用しやすい。料金改定は妥当である。

**反対** 歌川渡  
多目的利用に合わせてグレードアップしても、利用料金を住民に転嫁すべきではない。安価で利用できる施設の維持が必要である。

**賛成** 13  
**反対** 1  
賛成多数で可決

**質疑**

**問** 料金が1時間単位に変わったが利用者の声は。  
**答** 生涯学習課長 効率よく利用できると聞いている。

工事名	契約先	金額	変更後金額	主な理由
松ヶ浜地区災害公営住宅整備	宮城県知事	6億1812万円	6億5852万円	人件費、資材の高騰 消費税の改正
吉田浜地区災害公営住宅整備		1億9291万円	2億549万円	
菖蒲田浜地区災害公営住宅整備		24億4723万円	25億9999万円	
花洲浜地区災害公営住宅整備		11億7665万円	12億5175万円	
代ヶ崎浜地区災害公営住宅整備		5億6560万円	6億95万円	
松ヶ浜漁港災害復旧	みらい建設工業(株)東北支店	1億5225万円	2億2457万円	消波ブロックを海上輸送
菖蒲田・松ヶ浜漁港災害復旧	同上	2億5200万円	2億2611万円	防波堤の一部を減工
町道笹山線道路改良	大林道路(株)東北支店	1億9919万円	1億7792万円	岩質区分の変更
松ヶ浜西原地区高台住宅団地等造成および公共施設整備	佐藤工業(株)東北支店	1億7640万円	2億1183万円	残土処理の追加

**質疑**

**問** なぜ課の増設が必要なのか。  
**答** 町長 現状では復興推進への業務処理能力が限界である。復興整備に力を入れるために新設して対応したい。

**●課設置**  
**内容**  
復興整備課の新設に伴い、所要の改正を行うものです。  
震災復興推進課が復興推進課（総合企画調整等）復興整備課（用地の取得等）になります。

**●七ヶ浜健康スポーツセンター「アクアリーナ」**  
**内容**  
低額なクーポンチケットの区分を新設するものです。  
1枚当たり210円×100枚を追加します。  
(1万8900円)

# 補正予算

## 復興事業予算が

## 大幅に繰り越されました

繰り越された  
主な事業

- 災害公営住宅造成  
および建築関連事業
- 高台住宅団地造成  
および環境整備
- 地区避難所造成  
および建築関連事業
- 大規模修繕費の利子  
補給や宅地高上げ等  
の補助金
- 従前用地買収費等  
の費用
- 中学校の改築工事
- 漁港災害復旧工事



急ピッチで進めて欲しい造成工事

### 質疑

**問** 歳出での追加理由  
は。

**答** 政策課長 予想より  
利用客が少なかつた  
ための補てんである。

ぐりんご負担金へ追加  
(200万円)

### 質疑

**問** 歳入で追加されてい  
るが理由は。

**答** 地域福祉課長 園児  
の増加により国と県  
で負担するものである。

認定ごとも  
運営負担金へ歳入追加  
(496万円)

### お も な 内 容

一般会計		補正額
歳入	国の補助金(第8次25・26年度配分)	2億6125万円
	震災復興特別交付税等の減額その他の計	▲34億9881万円
	歳入補正合計	▲32億3756万円
歳出	震災復興推進事業費の減額・繰り越し (災害公営住宅、高台住宅団地造成他)	▲17億941万円
	震災復興基金事業費の減額・繰り越し (大規模修繕費の利子補給や宅地高上げ補助金他)	▲3億5535万円
	七ヶ浜中学校改築工事の減額・繰り越し	▲3億492万円
	漁港災害復旧工事の減額・繰り越し	▲2億7963万円
	災害等廃棄物処理委託料等の減額	▲5億9590万円
	ミニライズセンター整備工事への追加	564万円
	子育て支援推進事業費へ追加	769万円
事業費の調整等その他の計	▲568万円	
歳出補正合計		▲32億3756万円

### 第1回定例会 提出議案採決結果一覧 (3/5~3/17)

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	阿部慶也	我妻周悦	千葉志美枝	郷石近剛史	歌川渡	遠藤久和	角靖志	大町睦夫	糸久博	遠藤喜二	鈴木勝美	渡邊淳	阿部和夫	鈴木初雄	岡崎正憲	佐藤梶信	
人権擁護委員候補者の推薦	9ページ	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員その他非常勤職員の公務災害等条例の一部改正	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
課設置条例の一部改正	8ページ	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消費税及び地方消費税の引上げに伴う関係条例の整備	8ページ	13	1	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の交換、譲与等条例の一部改正	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
都市計画税条例の一部改正	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道路占用料条例の一部改正	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学校給食センター設置条例の一部改正	8ページ	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会教育委員設置条例の一部改正	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スポーツ施設条例の一部改正	8ページ	13	1	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負変更契約「地区災害公営住宅整備事業」5件	9ページ	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負変更契約「平成24年度漁港災害復旧工事」2件	9ページ	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負変更契約「平成24年度町道笹山線道路改良工事」	9ページ	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負変更契約「平成24年度松ヶ浜西原地区高台住宅団地等造成及び公共施設整備工事」	9ページ	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
権利の放棄	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩釜地区環境組合の解散による規約の変更 3件	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道の認定	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度一般会計補正予算(第7号)	10ページ	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度下水道事業特別会計補正予算(第4号)	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度水道事業会計補正予算(第3号)	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会委員会条例の一部改正(議員提出議案)	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職(非常勤)職員報酬等条例の一部改正	—	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度一般会計補正予算(第8号)	10ページ	14	0	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 欠は欠席 議長(佐藤梶信)は採決に加わらない。

# 委員会レポート

## これも議会の仕事です

### 総務

本委員会は昨年9月以降、町民ハスぐるりんこ運行の検証と、その改善を目指して協議を重ねてきました。昨年11月に開催した議会報告会でも、町民から数多くの意見や要望が出されました。今回の議会では、意見や検証結果をもとに提言も含めた一般質問を行うこととなり、副委員長が委員会を代表して町の考えをいただきました。

今回の報告は、一般質問に至るまでの委員会の経過をお知らせします。

●平成25年12月20日  
議会報告会で出された意見・要望や問題点の整理を行いました。主な事項は次のとおりです。

●朝夕の増便。  
●ハス内の放送音量。  
●運行ダイヤが複雑。

### 産業建設

調査事項の農地復興対策として、農業用水路の塩分濃度を測定しました。昨年12月19日満潮の時刻に合わせて測定を行った結果、吉田浜人工池排水路は20%強と海水流入により非常に高い数値となりました。また、12月22日降雨時の測定も行い検証しましたが数値にあまり変化はなく、塩分が雨により希釈されていということが分かりました。5回実施してきた塩分濃度の測定調査は終了しました。1月29日七ヶ浜町農業生産組合の方々と懇談会を開催し、農業の現状と課題などを伺いました。

●主なものとして  
●津波で生産組合の機械はすべて流され、組合員の約半数も自宅や機械、ハウスなど流失した。



生産組合と懇談しました

### 農業生産組合との懇談会を開催

●昨年は町全体で70%が宮農を再開したが、生産組合は米のほかに大豆の作付けも行った。  
●平成26年度で初めて作付けをする花刈浜地域は満潮時に海水が入ってくる状況だったが、水門の整備などで宮農再開の見通しである。  
●後継者問題は震災で高齢農者が増え、農家の高齢

化も進み魅力ある農業環境の確立が課題である。2月5日委員会を開催し産業課から今年度稲作に向けての進捗状況の説明を受けました。フラッグプロジェクトの設置等で26年度作付けはほぼ問題ないとのことでした。  
これからも調査を継続し活動していきます。

### 利用者に愛されるバスを



利用しやすい運行を

●ルートの不便さ。  
●回数券の金額。  
●定時運行の採用を検討。早急に改善できるものは担当課を通じて運行業者へ善処を依頼しました。  
●平成26年1月28日  
政策課から、町公共交通需要調査と結果の説明を受け質疑を行いました。また、運行の実態を把握するため委員自らが、ぐるりんこに乗車し調査することとし2月上旬に実施しました。

●2月17日  
ぐるりんこ乗車による

調査結果を話し合い、運行ルート等の問題点を整理しました。  
●4月28日  
運行業者と運転手を招き、委員との意見交換を行い、運行側の事情等も伺いました。  
今後、一般質問の回答結果（18ページを参照）を踏まえながら、高台住宅団地や災害公営住宅地域の利便性を考慮し、より良い運行ができるよう調査を続けていきます。

### 教育民生

学校教育環境の充実を調査するため、昨年12月16日に教育総務課から  
①学校二学期制の検証。  
②被災児童生徒への支援。  
③全国学力調査の変遷。  
④七ヶ浜中と給食センター建設の進捗状況。の説明を受けました。

委員会は学校二学期制の状況を調査するため、研修先を女川町と大衡村に決定し、2月24日に視察先で教育委員会の説明を受け研修しました。主な内容は次のとおりです。



三学期制に戻しました（女川町）

●大衡村は、小学校と中学校の各1校で21年度から二学期制を本格導入しました。仙台圏の仙台市と富谷町も二学期制のため特に問題はありませんが、成果は、学期の期間が長くなり  
●夏休み、冬休み直前まで教科指導が可能。  
●学習の連続性を確保。  
●授業時数の確保で児童生徒とふれあえる。  
●行事にゆとりができる。  
●問題解決能力等の評価などがあります。

●七ヶ浜町は、18年度から二学期制を本格的に導入しました。目的が達成されているか研修の結果を踏まえ、これからも教育環境が児童・生徒にとって充実しているのかを調査します。

### 震災特別委員会

### 確実な復興をめぐって

平成23年9月に発足した本委員会は、復興を目指した町の施策が確実に実行できるのか等を事前に説明を受け、質疑を通して確認してきました。平成25年度は5回の委員会開催と、住宅団地造成の現地視察等を行いました。委員会では協議した主な内容を記載します。

●震災復興計画での全体進捗状況。

●住宅復興整備の内容と工程の確認。  
●住宅復興整備の状況。  
●住宅復興独自支援の拡充。  
●高台住宅団地のまちづくりルール。  
●津波防災緑地整備方針。  
●震災慰霊碑建立の説明。今後、一日も早い復興と、まちづくりに寄与するため積極的に活動していきます。



住宅団地造成の現地視察

### より良い環境づくりのため二学期制を検証



いとひさひろし 糸久博

# 再生期へどう取り組むのか

## 町長 住宅復興を確実にしたい



仮設住宅からの移転はいつになる

**問** 平成26年度は前期復興計画の再生期がスタートする。23〜25年度の復旧期における事業の進捗状況はどうか。

**答** 町長 復旧期は、生活再建や当面の住宅被災した都市基盤復旧などを目指したが、進捗率は70%程度である。被災者の住宅復興施策を最優先に取り組んだ。高台団地の造成工事は目標を達成できる見込みだが、災害公営住宅は目標より9カ月程度遅れる予定。

**問** 仮設住宅からの移転はいつになる

**答** 町長 町内各地区の歴史や見どころなどを紹介しているガイドブックは年間3000部作成している。町内のミニ観光案内所や公共施設などに備え付け、希望者に配布している。震災後の復旧状況に合わせて毎年修正しており、町の復興が固まった時点で全戸配布を検討したい。

**問** 町の観光ガイドブックは他に例のない優れた冊子である。七ヶ浜の見どころを地区ごとに掲載し、町外へ向け観光情報の発信に貢献している。町民がまちの良さを再認識し、友人や知人にアピールすることで誘客効果も期待できる。全世界へ配布する考えはないか。

**答** 町長 町内各地区の歴史や見どころなどを紹介しているガイドブックは年間3000部作成している。町内のミニ観光案内所や公共施設などに備え付け、希望者に配布している。震災後の復旧状況に合わせて毎年修正しており、町の復興が固まった時点で全戸配布を検討したい。

**問** 団地造成が完了し住宅建設が進むと仮設住宅に空き部屋が発生する。仮設住宅の集約化や入居基準の緩和が考えられるが本町の対応は。

**答** 現在299世帯が仮設住宅に入居している。笹山地区の造成完了が近づいた段階で住宅建設の調査を実施し、集約の必要性などを判断したい。

**問** 2月18日、松島湾、ダークランド構想が宣言された。この取り組みは七ヶ浜の観光資源を広く発信する好機であり、拠点になる町の観光協会の強化が必要だと思うが町はどう支援するのか。

**答** 震災後、会員数の減少で組織の弱体化が心配されているが、協会を活性化する動きもある。会員自らが企画・運営し、町が側面から支援することが理想の形と考える。

**問** ガイドブックで七ヶ浜をアピールせよ

**答** 町長 復興状況で全戸配布を検討



見どころ満載のガイドブック



# 町政を問う

## 一般質問一覧表

3月定例会の一般質問は、14日と17日の2日間行い、9人が活発な議論を展開しました。内容は質問者の原稿を原文に近い形で15ページから23ページに掲載しています。なお、タイトルは通告のとおりです。

### 糸久博 ..... 15ページ

- 震災復興計画について
- 観光行政の推進について

### 渡邊 淳 ..... 16ページ

- 平成24年11月七ヶ浜町治水方針に伴う雨水排除基本計画の策定について
- 区画整理事業の資金計画について

### 歌川 渡 ..... 17ページ

- 女川原発事故想定を盛り込んだ町地域防災計画で町民の命と安全・財産は守れるのか
- 被災者の生活再建支援と地元事業者支援策について
- 被災者医療費免除の再開について

### 鈴木 初雄 ..... 18ページ

- 町民バス「ぐるりんこ」の運行について

### 岡崎 正憲 ..... 19ページ

- 地域包括ケアシステムの構築を
- 除雪体制について

### 千葉志美枝 ..... 20ページ

- 消防団支援法の施行による地域防災力の充実強化について
- 災害時の共助体制を強めるサポート事業所の登録を

### 郷近剛史 ..... 21ページ

- 先祖伝来の土地を手放した地権者に対する感謝の念について
- 不登校対策について

### 阿部 和夫 ..... 22ページ

- 松くい虫対策について
- 広報広聴について

### 遠藤 喜二 ..... 23ページ

- 花刈浜地区表浜の現状維持はできないか







ほつお 初雄 鈴木

# 町民バスぐるりんくんのサービス向上を

## 町長 今後検討していきたい

**問** 現在5,000円の回数券を販売しているが、小額のものも販売して欲しいとの要望があるが対応は。

**答** 町長 1回の利用料金が150円から400円であり、1,000円券では数回の利用で使い切ることから3,000円を超える回数券をペーシに検討したい。

**問** 学生へ学割サービス回数券を販売する考えはないか。

**答** 学割サービスは、公共交通需要調査のアンケートでも20数件の声があることから、学生証の提示などで対応できないか、多賀城東部線バスと調整を図りながら検討したい。

**問** 時刻表や運行表が分かるようにくいの指摘があるが見直す考えは。

**答** 見やすく分かりやすい時刻表を検討していきたい。

**問** 朝の塩釜行きや多賀城行きの増便と、夕方の両市からの下り便の増便および運行時間を延長する考えはないか。

**答** バスの台数を増やさないで対応できない。1台の増車で年間約900万円、運行時間の延長で経費が2台で年間1200万円の負担が見込まれ厳しい。今後、見直しを図る際に検討したい。

**問** 多賀城便の利用客でアクアリーナへの運行を望む声があるが。

**答** 亦楽小学校前で下車し、徒歩をお願いしたい。今後、見直しを図る際に検討したい。

る際に検討していく。

**問** バスの昇降ステップの高さが平均ではなく足を踏みはずす恐れがある。改善できないか。

**答** バス車両の更新時期に合わせて、より安全性の高い車両で運行するように委託会社と調整していく。

**問** 今後、高台住宅団地の完成とともに、運行形態も変化が考えられる。将来は町内便と町外便に分け、町内便を西回りと東回りにして町内を循環する。町外便は塩釜市や多賀城市を往復すれば運行時間の短縮と利便性が高まると考え提案するかどうか。

**答** 高台住宅団地や災害公営住宅の整備に合わせ、運行経路など一体的に見直しを図る時に検討していく。また、懸案事項や課題を関係機関、関係者と協議しながら総合的に取り組んでいきたい。



利用しやすい運行を

# 地域包括ケアシステムの構築を

## 町長 構築を目指し計画を策定する



おさき まさのり 岡崎 正憲



おだやかな老後を（自生苑にて）

**問** 国では社会保障・税の一体改革で、目指す将来像の一つに重点化や効率化を挙げている。2025年度を目標に平均入院日数では20〜30%短縮や、在宅医療・在宅介護の推進では施設から在宅・地域への移行が示されている。本町も在宅医療と在宅介護の充実を図る必要があるが基本方針は。

**答** 町長 平成23年度に策定した介護保険事業計画並びに高齢者福祉計画では基本理念を「健康で生きがいのある支えあうまち七ヶ浜」として

いる。平成27年度からスタートする第6期計画では国・県の方角性を見据えて、住民アンケート調査や介護保険運営協議会の意見を参考に策定する。また、基本理念や基本目標なども議論し決定したい。

**問** 在宅介護の関連で、本町には「介護者家族の会」がある。在宅介護経験者やケアマネジャーが意見交換を行い、介護のスキルアップを図っていること認識しているが、ここでの知識をどのように反映しているのか。

**答** 町長 町単独では実所の医療整備課や塩釜保健機関と連携して、その実現に向け取り組みたい。

**問** 健康増進課長 介護している家族の慰労が大きな目的であるが、出された意見は現場に直接生かしている。

**答** 町長 在宅医療に欠かせない医師や訪問医、家庭医の確保や育成をどのように考えるか。

**問** 在宅医療に欠かせない医師や訪問医、家庭医の確保や育成をどのように考えるか。

**答** 町長 町単独では実所の医療整備課や塩釜保健機関と連携して、その実現に向け取り組みたい。

**問** 開業医だけでなく現役を引退した医師を採用する等の方法を検討できないか。

**答** 引退した医師の意向もあり難しい面がある。

**問** 将来的に、24時間体制の地域包括ケアシステムを構築する考えはないか。

**答** 国の方向性に沿って次期介護保険事業計画を策定する。その中で構築を目指したい。人口減少が加速化する社会での将来のまちづくりを考えている。

## 歩道（通学路）を除雪せよ

### 町長 今後の検討課題としたい

**問** 児童・生徒の通学路の安全を確保するために、除雪作業契約に歩道（通学路）を追加する考えはないか。

**答** 町長 歩道用除雪機の購入や人身体制を整えば、可能とも思えるが、購入などの国や県の補助等を確認したい。地域住民の協力を得ながら安全・安心に通学できる体制づくりを今後の検討課題とした。

**問** 2月の大雪では除雪機が非常事態に悪化した状態が非常に悪い。利用者を考えた施工

を望むが、除雪技術等の研修はどのようにしているか。

**答** 機械の性能やオペレーターの不慣れもあった。委託内容の見直しも視野に入れて検討したい。

### ひとこまメモ

地域包括ケアシステム  
介護が必要になって住み慣れた地域で暮らせるよう、介護や医療、予防、生活支援、住まいが一体的に提供される支援体制。



郷右近 剛史

# 地権者へ感謝の念を

## 町長 町制施行60周年の時に検討



町制施行55周年での表彰

**問** 昨年11月に開催した議会報告会で、高台住宅団地や災害公営住宅の用地として土地を提供した地権者に対し、町は感謝の念が足りないのではないかとという意見が出た。町の考えは。

**答** 町長 町としては、地権者の皆様に深く感謝している。

**問** 地権者に対し、感謝状等、形として感謝の念を表したらどうか。

**答** 現時点では、特に考えていない。

**問** 高台住宅団地や災害公営住宅の完成の時こそ表彰すべきではないか。

**答** 平成30年の町制施行60周年記念の時に感謝状の贈呈も含め、検討すべきではないかと考えている。

**問** 今回は東日本大震災が発生したため、七ヶ浜町表彰規則第6条の「特別の事情があるときは、その都度行うことができる」が当てはまるのではないか。

**答** 過去に土地を取得し、協力していただいた方を表彰した実績がない。

**問** 平成30年では、震災の風化と同じように感謝の念も風化してしまうのではないか。

**答** 風化しないように継続していく。

**問** 学校教育支援センターの設置期間を4年間とした意図は何か。

**答** 教育長 長期にわたって設置しておく、学校は預ければ解決するという安易な発想になってしまう。そのような状況を避けたいからである。

**問** 本町独自の取り組みはあるのか。

**答** 保護者間のネットワークを組織し、情報交換等を行いながら保護者の教育力を向上させようと考えている。

**問** 不登校対策としてどのような効果を見込んでいるのか。

**答** 不登校児童生徒が通所することが最終目標ではなく、学校に復帰し、立派に学校を卒業させることを目指している。

**問** 学校教育支援センターの設置期間を4年間とした意図は何か。

**答** 教育支援センターと学校が相談や連絡する関係をつくっていかねばならない。

**問** そのために何が必要か。

**答** 不登校を未然に防止するため、学校、教師にどのような指示をするのか。

**答** 学校に指示をして回るが、学校自身が自分の力で変わっていかねばならない。その都度しっかりと指示していきたい。

**ひとこま**

七ヶ浜町学校教育支援センター

- 目的 学校を長期にわたり欠席している児童・生徒を対象に、安心な居場所を提供し、自立や学校復帰を支援する。
- 期間 平成26年4月1日～30年3月31日。
- 場所 生涯学習センター内。
- 開所日等 毎週火曜日～金曜日、午前9時～午後3時。通所した場合は学校への出席扱い。
- 予算 平成26年度事業費は52万5000円。



志美 千枝

# 支援法による消防団員の処遇改善は

## 町長 団員の報酬は今後話し合いたい



日頃から訓練に励む団員

**問** 昨年12月、消防団支援法が施行され処遇の改善等が示されたが、団員の報酬や出勤手当の引き上げをどのように考えるのか。

**答** 町長 報酬は団長が月額14万5000円、分団長9万2000円ほか階級ごとに定めている。出勤手当は一回につき3600円で、どちらも二市三町で一番高いが、今後隣市町の動向をみたい。

**問** 分団の課題でもある一般団員にも報酬を支払う考えは。

**答** 現在団員の報酬支給は定めていないが、今後どうあるべきか話し合っていきたい。

**問** 新しい支援法による団員の確保をどのように行っていくのか。

**答** 全国的な取り組みとして「消防団員入団促進キャンペーン」が実施されている。先進地事例も取り入れながら進めていきたい。

**問** 公務員の消防団との兼職に関する特別が定められ、職務に支障がない限り認めるよう義務付けられた。本町職員も加入推進を図るべきでは。

**答** 現在、職員161人のうち町内在住者は83人である。有事の際は参集が不可能なことも想定し、約50人で非常時優先業務にあたることになり職務に支障をきたす。今のところ職員の入団は難しい。

**問** 東日本大震災では最後まで住民の避難誘導にあたるなど、全国的にも多くの人が犠牲になった。団員の安全確保は。

**答** 要望のあったライフジャケットやヘッドライト等の配備を完了。新年度では救助用ストレッチャーを購入し配備する予定である。地域防災

計画の改定に伴い、消防団の活動マニュアルも安全管理や退避ルールなど詳細を詰めながら現在作成している。

**問** 女性消防団の活動は近隣市町の中でも活発であるが、災害時の女性団員の担う役割は。

**答** 女性団員は現在17人で二市三町で最も多い。災害時の活動は正副団長の指示のもと現場広報や避難誘導、応急救護情報収集などの後方支援活動である。



女性消防団も一緒に訓練

**サポート事業所の登録を**

**町長** 本町の特性に合うのか検討

**問** 災害時の共助体制を強める「サポート事業所の登録」を。

**答** 町長 本町の特性に合うのかを検討しながら、より良い共助体制の構築に努める。



えんどう よしじ  
遠藤 喜二

# 表浜の現状維持を

## 町長 防災緑地公園にしたい

**問** 表浜に出土した製塩事業跡の土器は山形県や岩手県との交易跡として見つかった。製塩遺跡をレプリカとして残し観光事業として活用できないか。

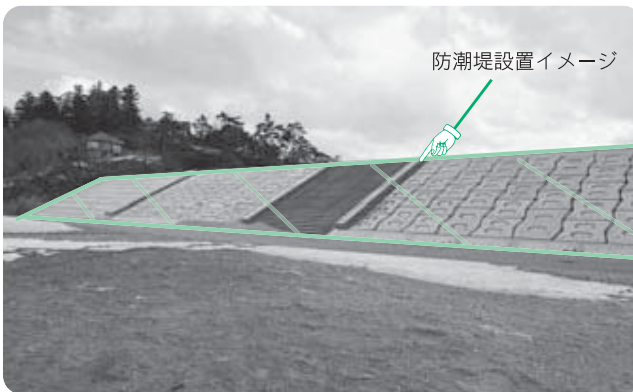
**答** 今回は試掘の結果、本格的な発掘調査を必要としない事業となっており、遺構跡地は県の指導の2m未満の盛土をして遺跡を保存し、津波防災緑地として都市公園整備を計画している。

**問** 奈良時代から変わらない花洲浜表浜の景観を残せないか。

**答** 町長 昨年、浜の陸側は試掘調査をして埋蔵文化財の確認事業を実施し文化財の保護および管理に努めている。



現在の表浜



防潮堤設置イメージ

見えない海

**問** 住民が少なくなった表浜ではなく県道のかさ上げが、県道手前の小塚あたりに交互に小山を造り植樹して津波の防御はできないか。

**答** 県は震災を理解した上で、すでに6.8mのコンクリート防潮堤の計画をしている。

**問** 昨年6月に国交省河川局は岩沼市相の釜地区にあるコンクリート防潮堤の陸側を覆土をした。本年3月7日、閣議決定した海岸法の改訂により、表浜にある現在の防潮堤の陸側に覆土して広葉樹などを植樹した防潮堤はできないか。

**答** 県では6.8mのコンクリートの防潮堤は必要不可欠としている。防潮堤の高さを変える事は震災復興計画自体の見直しが必要であり、被災市街地復興土地区画整理事業や現地再建者およびレゾナンスの見直しを含め、住民に混乱を招くものである。



あべ かずお  
阿部 和夫

# 松くい虫被害対策を急げ

## 町長 被害防止対策に努力

**問** 東日本大震災後に松枯れが目立つ。平成20年から24年まで約1000本の松の木が伐倒駆除された。町木の黒マツ保全が緊急の課題である。被害木の処理の現状は。

**答** 町長 伐倒駆除や薬剤の地上散布、樹幹注入を実施している。また、通学路や住宅、道路に面した危険な箇所は優先的に伐倒で対処している。薬剤散布は、健全な

松を保護する目的で君ヶ岡公園や国際村周辺、花洲崎周辺等で実施している。樹幹注入は、一本ずつ薬剤を注入し、防除事業は効果的に組みあわせ被害対策に努めている。

**問** 将来の景観保全を考慮し、植栽をすべきではないか。

**答** 景観保全の観点からも植栽は必要だが費用面での問題が大きく、事業展開ができない現状である。

する考えで、町の緑化推進委員会に提案する予定をしている。

**問** 継続的植栽と樹木は抵抗性マツと常緑樹との組み合わせの考えは。

**答** 抵抗性マツ、その他は緑化推進委員会での相談の予定である。



目立つ松くい虫被害

**問** 伐倒後現場で切断燻蒸しているが、速やかに撤出焼却できないか。

**答** 産業課長 震災後は被害木が多いため、伐倒を優先し撤出まで手が回らない状態だが、今後は撤出も考える。

**問** 松の枝切りや下刈り等手入れをする考えはないか。

**答** 町長 現時点では、枝払いや間伐は考えていない。

# 広報に工夫を

## 町長 検討している

**問** 広報広聴に地域密着型のFM放送やケーブルテレビ放映等、速やかに知らせる必要性があるのではないか。

**答** 町長 現在多賀城・七ヶ浜商工会がコミュニティFM局開設準備

会を立ち上げ検討している。本町と多賀城市も準備会の委員として参加し今後を見守っている。特に情報媒体として災害時の利活用を視野に入れて検証する。

# 元気にはばたく わが町のサークル

町内には活躍する数多くのサークルがあります。今回から体育協会、文化協会それぞれに所属するサークルを順次紹介いたします。サークルの皆さんからインタビューに答えていただきました。



お互いに元気を交換

**Q** 創立は。  
A 平成12年4月。  
高齢者の健康づくりと、コミュニケーションを目的として結成しました。  
「仲間がひろがる。笑顔もひろがる。」がモットーです。

**七ヶ浜町  
グラウンド・ゴルフ協会**  
代表 新倉繁夫（汐）

**Q** メンバーの構成は。  
A 男性35人、女性25人の計60人です。平均年齢は76歳で、町内全域から集まっています。

**Q** 今後の目標は。  
A 震災後はグラウンドがないので、大きな大会が町内でできない状況を改善して欲しいので、練習するスペースもないので、第2スポーツ広場で練習できるようにグラウンドの整備へ、将来、防災緑地公園にプレーができる場所をつくって欲しい。

**Q** 活動状況は。  
A 様々な大会が年間25回くらい行われていて、みんな生き生きとプレーしています。  
また、会員交流のため春と秋の年2回、温泉地などに旅行に行っています。  
さらに、去年のチャレンジデーの時には、同じ被災地の気仙沼市から愛好者が集まり、交流戦を行いました。



楽しくプレー



仮設住宅で演奏

**Q** 創立は。  
A 平成6年3月。  
地域の文化を何か創ろうと、汐見台地区の青少年健全育成会と汐見台連合町内会を中心に発足しました。

**七ヶ浜汐見太鼓**  
代表 鈴木慶二（汐）

**Q** モットーは。  
A 楽しく太鼓を打つことと、感動の共有です。一生懸命打つことで聞き手に伝わった感動が太鼓を打っていて良かったと思える瞬間です。

**Q** メンバー構成は。  
A 小学校の高学年から高校1年生までのジュニアチームが12人と、10代から60代までの大人チーム14人で活動しています。汐見台を中心に花洲浜や東宮浜、仙台市からの参加です。

**Q** 活動状況は。  
A 結成当初は2台の太鼓と古タイヤを叩いて練習をしました。その後さまざまな支援を受けて太鼓を揃えることができ、地域内外での演奏活動が飛躍的に広がっています。町の夏祭りなどの演奏や、鎌倉市七里浜でも演奏しました。

**Q** 今後の目標は。  
A 20周年を迎えるので、11月に記念演奏会を行う予定です。



練習場でピース



はつらつとプレー

**Q** 創立と活動状況は。  
A 昭和52年結成。  
県内で強豪だった町内のチームと、野球をしたい仲間が集い結成しました。活動の中心はナイターのみリーグ戦（11チーム総当たり）を毎年熱く開催しています。また、中学校野球交流大会への審判派遣や町内行事の参加、清掃活動などを行っています。

**七ヶ浜町野球協会**  
代表 鈴木初雄（松）

**Q** 今後の目標は。  
A 町内にはナイターリーグの協会があると聞いています。ぜひ交流を持ちたいと考えています。

**Q** 議会に望むことは。  
A 議会でもチーム結成してぜひ参加して欲しい。（笑）



加盟チームが全国大会に出場



楽しく歌うグループです

**Q** 結成のきっかけは。  
A みなさんに歌手のような味わいをさせたい、輝いてもらいたいと思ったからです。カラオケの教室にいる時だけは、日常を忘れて楽しく過ごしてもらいたいと思っています。

**Q** 創立は。  
A 平成17年4月です。  
七ヶ浜の演歌が好きな人を集めて結成しました。

**カラオケ「演歌村」**  
代表 佐藤けい子（要）

**Q** 議会に望むことは。  
A 昔に比べてお祭りなどが少なくなってきたので増やして欲しい。  
町外から人を呼ぶのではなく、地元の人を主役になり、地元の人参加が増えるような祭りで町を活性化してほしい。

**Q** 活動状況は。  
A 第二演奏苑へ2カ月に1回慰問に行っています。  
また、年に1回の発表会を開催しています。今年は、9月27日に「第8回演歌村まつり」を開催します。是非みなさんお越しください。



輝いています

# 議会報告・懇談会を開催します



佐藤 梶信 議長

七ヶ浜町議会は、開かれた議会とするため平成23年度から年2回、議会報告会を開催しています。議会の運営状況や活動状況等の説明および町政に関する情報提供に努めるとともに、皆さんから意見や要望などを伺っています。いただいた貴重な声は、一般質問や委員会活動などで町へ提案し、町政に反映しています。

6回目となる今回は、皆さんとの懇談会を入れた内容で開催しますので、ぜひ都合の良い会場にお越し下さい。多くの方の参加をお待ちしています。

開催日	時間	開催場所	1 班
5月17日(土)	午前10時	吉田浜コミュニティセンター	
	午後2時	汐見台第2公民分館	
5月18日(日)	午前10時	湊浜公民分館	
	午後2時	湊浜日町管住宅跡地仮設住宅集会所	

開催日	時間	開催場所	2 班
5月17日(土)	午前10時	要害公民分館	
	午後2時	東宮浜公民分館	
5月18日(日)	午前10時	境山公民分館	
	午後2時	第1スポーツ広場仮設住宅集会所	

開催日	時間	開催場所	3 班
5月17日(土)	午前10時	花刈浜消防ポンプ車置場	
	午後2時	亦楽公民分館	
5月18日(日)	午前10時	生涯学習センター第1・2研修室	
	午後2時	七中グラウンド仮設住宅集会所	

**Q** 湊浜公民分館の解体費用を町が負担する考えはないか。  
**A** 補助を出して地区で解体することで基金交付金の利用を調整中。

**Q** 町は、婚活イベントを企画し、開催すべきだと思うが。  
**A** 町としての婚活は行っていないが、県と共催で年1回の結婚相談会を行っている。  
 また、アクアゆめクラブがスポーツ婚活を実施している。内容はアクアリーナを活用したバトミントンやニュースポーツなどの交流、楽天イーグルスの試合観戦などの企画を行っている。

**Q** 代ヶ崎浜清水地区で下水処理に雨水が入り、家庭の生活排水がでぎず困っている。  
**A** 町は状況を把握しており、原因究明のための汚水取付管の調査を行い、今後の改善策を検討する予定になっている。

平成25年11月に開催した第5回議会報告会の、その後をお知らせします。

皆さんの意見・要望は  
 こうなりました。



東日本大震災で被災し亡くなった方の御霊を慰める場所が欲しい。津波の教訓を残したいなどの思いが強く、3人の議員が質問しました。

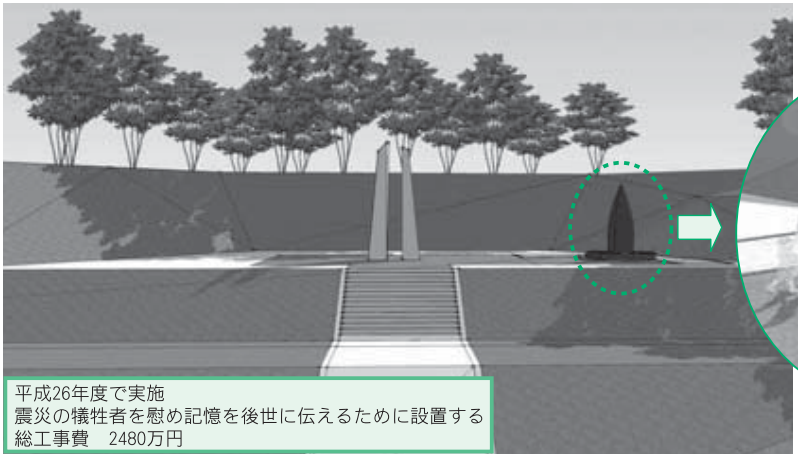
犠牲者の供養をし、震災の記憶を継承する必要があるのでは。 <平成23年12月定例会>	慰霊碑を建立する考えはないか。 <平成25年3月定例会>	礼拝する供養塔を設置する考えは。 <平成25年9月定例会>
答弁	答弁	答弁
町長：時期が来れば広く意見を求めたい。	町長：検討しなければならぬ時期と考える。	町長：行政は宗教活動を禁止されているため設置は難しい。

町で協議

町長、副町長をはじめ関係各課で協議重みのある碑をつくるべきであり、町全体の被災状況を考えてふさわしい場所に設置したい。

結果

決定 蓮沼苑が妥当



平成26年度で実施  
 震災の犠牲者を慰め記憶を後世に伝えるために設置する  
 総工事費 2480万円

追跡  
 今回は東日本大震災  
 慰霊碑の建立を追跡しました  
 質問のゆくえ



慰霊碑のイメージ

# クイズ？

＜3択から選んでね＞

問1 開所した学校給食センターの場所は、どこでしょうか。

- ① 七ヶ浜中学校敷地内
- ② 松ヶ浜小学校敷地内
- ③ 遠山地区

問2 改修予定の七ヶ浜中学校のプールの長さは何mでしょうか。

- ① 10m
- ② 25m
- ③ 100m

問3 東日本大震災の慰霊碑の設置場所はどこでしょうか。

- ① 生涯学習センター敷地内
- ② 七ヶ浜町役場敷地内
- ③ 蓮沼苑敷地内

応募方法： はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、  
議会へのご意見を書いてお送りください。  
(メール可)

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を  
進呈します。

あて先：〒985-8577七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺 5-1  
七ヶ浜町議会事務局 議会だより係  
Eメール gikai@shichigahama.com

締切り：平成26年5月14日 (当日消印有効)

前号の答え：問1 ① 問2 ② 問3 ②  
当選者：船木美恵子さん

町民の皆さんからお寄せいただいたご意見、  
ご要望などを紹介いたします。どしどしお寄せ  
下さい。お待ちしております。

## 小学校を卒業し新しい門出 (表紙写真)

今回の表紙は、小学校を卒業する6年生にスポ  
ットをあてた6年生を送る会の1コマです。

いろいろな思い出を胸に、新たに歩み出す希  
望に満ちた笑顔が印象的です。

表紙写真の鈴木和海(すずきわみ)くん、今思っていること  
をインタビューしました。

Q 今、夢中でがんばっていることは。

A サッカーです。

Q 中学生になったらやりたいことは。

A サッカーでレギュラーになれるよう頑張りた  
いです。

Q 将来の夢は。

A 海外で活躍するプロのサッカー選手になるこ  
とです。

Q 小学校を卒業した今の気持ちは。

A 中学校に行っても頑張りたいです。

Q 一番大切な人は。

A 家族です。



卒業式を終えて仲間とピース(左から2人目)

## 議会を監視するのはみなさんです。

一次の定例会は6月4日開会予定ですー

面倒な手続きはございません。

どなたでも気軽に傍聴することができます。  
お誘い合わせの上ぜひお越しください。

詳しくは議会事務局まで TEL357-7435  
または、町ホームページ「町民便利帳」を  
ご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>

編集後記



東日本大震災から早  
3年が経ちました。  
あの日の出来事がつい  
この間のように思い起こ  
されます。震災直後、雪  
の降る中、給水所にずぶ  
濡れの男性がペットボト  
ルを抱えて並んでいまし  
た。聞けば、仙台から10  
時間かけて故郷に戻り、  
避難所でたまたま一緒に  
なった隣のおばあさんの  
分も合わせて飲料水をも  
らいに来たとのこと。そ  
のことが今なお脳裏に焼  
き付いています。  
26年度予算が決まり、  
復興再生へ向けた槌音が  
ようやく聞こえはじめて  
きました。時あたかも春  
爛漫。一日でも早く被災  
者の心にも春が訪れます  
ように。

発行責任者	議長	副議長	委員	副委員	議会広報編集特別委員会
佐藤 梶信	渡邊 淳	遠藤 喜二	角 靖志	千葉 美枝	遠藤 喜二
			糸久 博	岡崎 正憲	